

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本 智子
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 7月14日 16時～18時
	場所：福岡市中央市民センター
PI活動の種類	グループヒアリング
所見 (アドバイス等)	<p>ステップ1で不足していた、女性に的を絞った少人数での活動として、評価できる試みであった。</p> <p>居住地区・空港利用歴・年齢層が多様であったこと、全く知らない者同志が各自意見を述べる雰囲気づくりに努力がみられた。</p> <p>司会がソフトで、話しを引き出すのに貢献していた。</p> <p>(アドバイス)</p> <p>(1) PI活動のスタッフのうち、最低 1/3 は女性スタッフを入れるよう、今後スタッフの養成や人事の配慮が必要であると考え。活動スタッフ(特に説明を行う中心スタッフ)が全員男性というのは、今回、やはり異様であると感じた。</p> <p>(2) 円卓でのミーティングの場合、スタッフが横の別テーブルではなく、円卓の中に交互に入る等、説明する側・聞く側という分離した印象の配置は好ましくないと思う。説明も前説明が長くなり、今回の主眼が参加者に当初理解できないようであった。</p> <p>(3) 利用者からの一般的意見として、近くて小ぶりな空港で便利だからこのままであって欲しい、でも予約が取りにくくなったり発着時の待ち時間が長くなるのは困るという相矛盾する循環型の意見に集約されがちな点は、将来の需要予測という今回のステップ2の目的上、どのような意見として取り扱って行くのか、今後の検討課題ではないかと考える。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>